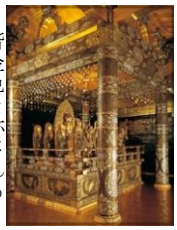
あおい通信 第123号

第123号 平成27年8月1日
リハビリテーション
デイサービス葵・編集委員会
練馬区東大泉3－17－5
カトウビル3F
電話 03－3978－0919

日本の世界遺産めぐり
その十五 平泉（文化遺産）②

中尊寺金色堂（ちゅうそんじこんじきどう）は、岩手県西磐井郡平泉町の中尊寺にある平安時代後期建立の仏堂である。

奥州藤原氏初代、藤原清衡が天治元年（一一一四年）に建立したもので、平等院鳳凰堂と共に平安時代の浄土教建築の代表例であり、当代の技術を集めたものとして国宝に指定されている。堂の所有者は宗教法人金色院である。


皆金色と称される金色堂の内陣部分

中尊寺金色堂

松尾芭蕉と中尊寺

源義経が平泉に自害し、奥州藤原氏が滅亡して五百年目にあたる元禄二年（一六八九）、松尾芭蕉は門人の曽良と二人、「奥の細道」の旅に出ます。芭蕉四十六才、曽良四十一才の春です。江戸を発ってから四十四日後の五月十三日、細道の果てに平泉を訪れた芭蕉は、まず義経公の居館があったと伝えられる高館の丘陵にのぼります。

丘の頂きに忽然とあらわれるのは束稲山のふもとに悠然と横たわる北上川と、それに合する衣川。そこには往時の栄華はなく、旧跡は田野となってひろがっているばかりです。

夏草や兵どもが夢の跡

「国破れて山河あり、城春にして草木深し」という杜甫の句を思い起こしながら芭蕉はしばらく高館に笠を下ろします。

続いて中尊寺を訪れた芭蕉は、かねてより伝え聞いていた金色堂に参詣します。鎌倉北条氏によって建てられたといわれる覆堂の中で、朽ち果てた金色堂はかろうじて光を投げかけます。

五月雨の降り残してや光堂

金色堂を光堂と称したのも、仏と人間との間に介在する光と、その光の彼方にある盛衰の歴史に、芭蕉の眼差しが向けられていたからに相違ありません。

観自在王院跡（かんじざいおういんあと）は、平泉に藤原基衡の妻が建設した寺院跡。境内跡は「毛越寺境内附鎮守社跡」の一部として国の特別史跡に、庭園は「旧観自在王院庭園」として国の名勝に指定されている。毛越寺に隣接している。一一八九年（文治五年）以後は荒廃し、水田となっていた。約160×260mの南北に延びる寺域の北部に二つの阿弥陀堂があり、中央部に園池があった。

阿弥陀堂

その寺域にある平安時代末期の庭園は一九七三年（昭和四十八年）から一九七六年（昭和五十一年）にかけて発掘・復元されている。数少ない平安時代の庭園遺構として評価されている。

※無量光院跡・金鶏山は省略いたします。

世評・時評

「坂本 九」

「上を向いて歩こう」「幸せなら手たたこう」を歌っていた坂本九さんが、あの日航機事故で亡くなって30年。（1985年8月12日）

日本を元気づけた人気歌手の突然の訃報だった。

妻で女優の柏木由紀子さんは、・・・多く人たちが私たち家族の大変な境遇を知っている。私のイメージは事故後、ズーッと「喪服の柏木由紀子」だった。家族の誕生日には歌をプレゼントしたり、海外公演に行った時にはダイヤモンドの原石を土産に買ってきたりと家族思いの夫だった。

口にすると過去形になる気がして嫌で、娘たちと話ができる様になったのは10年ほど前からで、死を受け入れられる様になるのに20年を要した。

転機になったのは2002年頃、各地の中学生から届いた手紙だった。事故を直接知らない中学生からの手紙には、最後のシングルレコードに収録された「心の瞳」を合唱で歌った事、坂本九がどんな人物だったのかを道徳の授業で学んだ事などが綴られていたという・・・

K・ドラゴン

雑記帳
大喰らいの罪

山村 匡子

今から六十数年前に見たフランス映画で、深く印象に残っている映画がある。人間を罪に導くという聖書の教えを題材にした『七つの大罪』で、フランスとイタリアの監督七人が、短いエピソードで構成したオムニバス映画であった。

大罪というインパクトのある題名に釣られて見たが、どのエピソードも人間の一寸した行動が罪になるというもので、とても大罪とは言えなかったが、その中で一つ、六十数年たった今でも、その罪が良く分からず、悩んでいるものがある。一人の行商人が、フランスの片田舎を行商している内に、夕方になったので、とある農家に一夜の宿を頼む。そこは中年の農夫と一寸魅力的な女房との二人暮らし、おかみさんの作った滅法おいしいチーズの夕食が済むと、農夫はサッサと寝てしまった。その家には大きなベッドが一つしかなく、おかみさんを真ん中に三人で寝ることになったが、彼女は行商人に「旦那は一旦寝ると朝まで目が覚めないから、何でも好きなことをして良い」と言う。すると行商人は一目散に台所に走り、チーズを心ゆくまで食べ食って寝てしまう。そして、翌朝世界一美味しいチーズの礼を言って旅立つ。このエピソードのタイトルは「大喰らいの罪」なのだが、私がいまだに分からず悩んでいるのは、ここでいう罪とは、一体何だったのだろうということだ。行商人が他人のチーズを貪り喰ったことなのか？それともおかみさんの密かな願いに応えて、つまみ喰いしてやらなかったことなのか？自分より魅力あるチーズを作ったおかみさんの罪なのか？どなたか教えてください。

葵友の会 広報コーナー

7月度行事の結果

カラオケ会
17日（金）バンバンにて。7名の参加。

歌舞伎鑑賞会
30日（木）練馬文化センターにて。20名の参加。中村雁治郎襲名披露公演。

8月度行事の予定

麻雀大会
19日（水）ベイブにて。

カラオケ会
21日（金）バンバンにて。

9月度行事の予定

カラオケ会
18日（金）バンバンにて。

山中湖・忍野村一日バス旅行
30日（水）昼食はホテルマウントフジでの洋食です。

（事務局より）

◆編集委員会より
「あおい通信」は、皆様からの原稿を募集しています。係員・飯島まで

利用者さんの絆コーナー

小川　基清（月、木）

船（二十五人乗り）を月島に置いていました。東京湾で海釣りです。船の名前は「森金丸」。あなご、きす、あじ、さばなど。私は昔に比べたら導火線が長くなりました。我慢強くなりました。

樋口　敏子（日）

書道は四段、俳画もやっていました。今も続けているのは、飯田深雪先生のアートフラワー。石神井の交流センターに月二回通っています。

深津　秀夫（木）

葵で皆さんと話をするのが楽しいです。運動をするのは疲れますが、爽快感があります。午後はラジオ体操をやります。

なんでも落語講座【落語と前座噺】

絹田治夫

第一回は、噺家にとって基本中の基本、前座噺ってどんなもの？

前座噺とは、単に「前座がやる噺」だと考えている人が多い。だが、実際には真打や二ツ目の噺家もまた前座噺を高座にかけている。つまり前座噺とは正確に言えば「前座もやる噺」なのだ。では、この前座噺とは、いったいどのような噺なのだろうか。基本的に、噺家が前座になった時に教わる噺が前座噺である。有名なのは「道灌」「子ほめ」「たらちね」「つる」「平林（ひらばやし）」「からぬけ」「寿限無」「酒の粕」などが挙げられる。落語家としての基礎を築くための噺であるから、落語らしい口調、上下（かみしも）の付け方、口慣らしなどに適した演目が揃っている。そのためこれらの噺にはいくつかの特徴がある。まず、登場人物がさほど多くない。さらに、「オウム返し」や「言い立て」のある噺が多い。オオム返しとは、最初に賢い人が教えてくれたことを馬鹿な男が覚え、それをそっくりそのままほかの人に吹聴しようとするが、話す人間が馬鹿だけにうまくいかないという、落語の定番の形式のひとつである。そして定番であるからこそ、この形式は必ず学ばねばならない。一方、言い立てとは「寿限無」や「たらちね」の人名や、「金明竹」の道具一覧を述べる件などのことで、これらの早口言葉のような台詞をしゃべることによって口慣らしの訓練を兼ねているのである。　つづく

ふわふわ亭わび助

七十年前の青春

島田暎一

今年は戦後七十年の節目で、戦争について、マスコミで色々と報道されています。七十年も豊かで平和が続いているのは憲法九条のおかげです。

昔は十年おきに戦争がおきていました。特に六月は、太平洋戦争最後の激戦地、沖縄戦の月です。二十万以上の特兵や一般市民を巻き込み、中でも『ひめゆり学徒隊』の活躍は悲壮なものでした。軍の上層部は、「一億玉砕」を唱え戦いを強い、大勢の人たちを死に追いやったのです。沖縄は今でも基地問題で苦しんでいます。私は日本の軍部政府が、ドイツが五月に降伏した時、何故日本も戦争を止めなかったのかと、悔しくてなりません。負けるが勝ちと云うこともあります。あの時停戦降伏していれば、沖縄の悲劇も、原爆もなかったのです。強い軍部を抑えられる要人がいなかった事が残念です。海軍の山本五十六長官が生きていたら、先見の賢明策をとっただろうと思います。一億玉砕したら何も残りません。昭和二十年当時、十九才に間近の私は、昭和十八年の祖国の危機を救うため、愛国心に燃え、海軍の少年飛行兵、甲種予科練を志願しました。土浦での厳しい訓練を卒業し、九州の基地で苛酷な飛行作業（訓練）を受け、単独、編隊飛行を終え、もう少しで終了と云う時、基地がグラマンに空爆され、岩国基地へ移動しました。が、ここもB29が3百機近く来襲し爆撃に会い、徳山の燃料蔵が猛爆を受け、大勢の死人がトラックで運ばれるのを見て、これが戦争の惨状かとおもいました。　つづく

私の国際化

吉冨勇多喜男

今や国際化について新聞、雑誌で語られない日はありません。日本だけに、閉じ込められていたのが、一斉に開放されたのです。外を歩いていると、出会う人々は随分変わってきました。私にとっては生まれた時から、国際化が始まっていました。インドネシヤで生まれ生後を世話してくれた人はインドネシヤ人で、小一、二は全校五〇名のバタビヤ。日本人で同じ年次に、有吉佐和子さんがおられたのですが、お偉かったのは彼女のお母さんで、同じ車で帰宅した折に、おやつを一緒に頂き乍ら、子供向きの「古事記物語」を読んで下さいました。多分それが後日「紀ノ川」になった様です。

七才の時、日本に移り、日本語が母国語となったのです。小学校三年の時、京都の植柳尋常小学校に叔父の世話で入った後、学区別の中学に入りました。しかし、英語の教科書は敵国語として墨で塗りつぶされました。秦の始皇帝の「焚（ふん）書」の如き処置でした。

それが終戦で一転し、開放されたのです。英語が教えられ、学校以外の塾もあり、大学の入試には英語力がためされました。私塾のN教室が祇園新門前にある事を知り、N教室の扉をたたき日系二世のクラス二〇名の夜の教室に通いました。N先生は米国日系二世で、発音や文章力が素晴らしく、リンカーンのゲティスバーグ演説をテキストに、何回も復習しました。

海外志向し商社に就職。七年目にHK勤務となりました。そのHK事務所は中国人六人、日本人三人、共通言語は英語。日本人は日本語、中国人は広東語でした。彼等同士は、日本人に知られたくない場合は広東語、上海語を使用していました。広東人は背が低く、浅黒い肌です、広東語はパッパーと促音便、気性は荒く激しい。やや少数の潮州人は単純な性格の持ち主が多かった様です。　つづく

自画像

ドライバー　中村敏夫

私は四十年間、郵便局に勤めておりましたが、身体の具合が悪くなり、定年の半年前に退職し、八年間年金生活をしてまいりました。今年の五月から葵さんの所でお世話になる事になりました。

趣味は旅行、温泉、読書等です。ドライブも好きであちこち出かけています。運転は苦にならないので、今まで以上に安全運転を心掛けて参ります。今後もご指導の程宜しくお願い致します。

あおい俳壇・歌壇

下は渦　鳴門大橋　梅雨しぐれ
古代蓮　ピンク鮮やか　朝の色
平林寺　読経とコラボ　蝉が鳴く

大内田日出人

ひらひらと　梅雨の晴れ間に　あげは蝶
夕日にとけこみ　初夏のぬくもり

みどり濃く　雨音はげし　木々ながめ
心は静か　おだやかな日々

五月作・題詠「空」　鈴樹　清明

嫁く子に　わが来し方を　語らいき
夜更けの雨は　音しずかなり

ことさらに　父を気遣う　この頃を
父知るらんか　嫁く娘の

麻生　伊登子

木には木の　花には花の　愁ひあり
苗の空の　沈みゆくとき

寂しさに　耐えきれなくて　簫（しょう）簫と
風の中に立つ　心空にして

河西千恵子